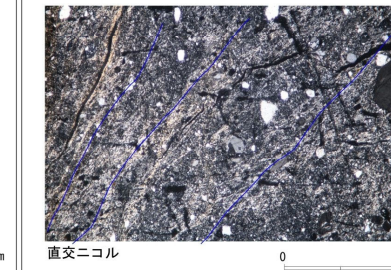
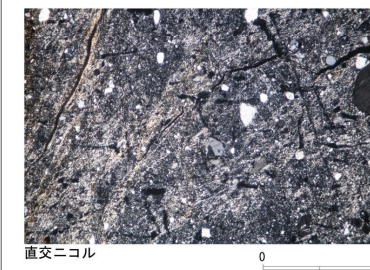
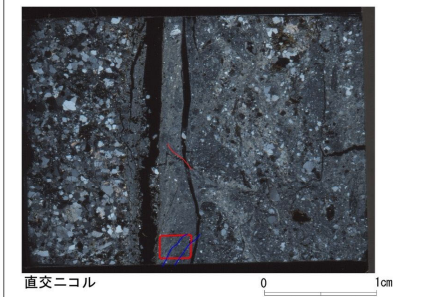
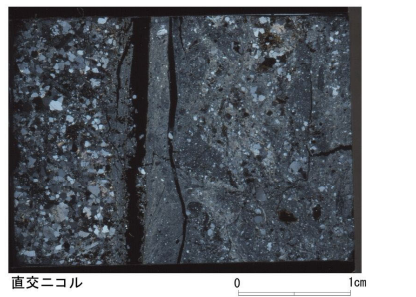
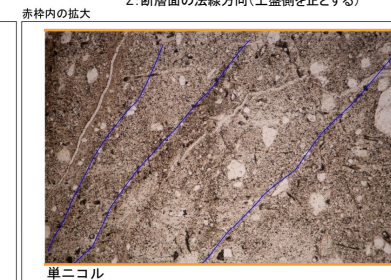
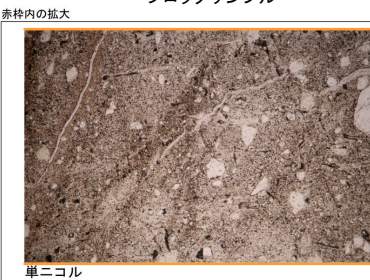
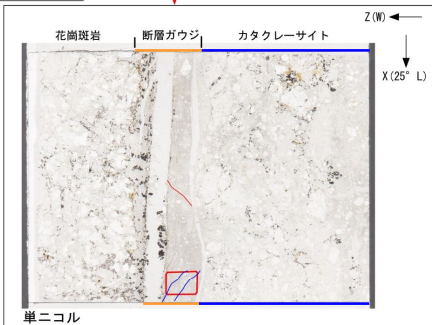
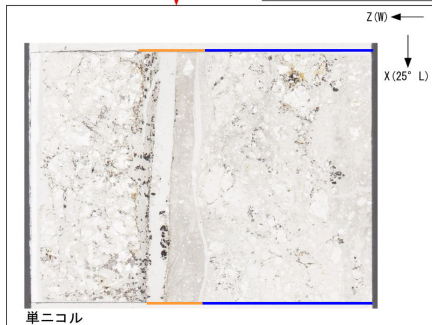
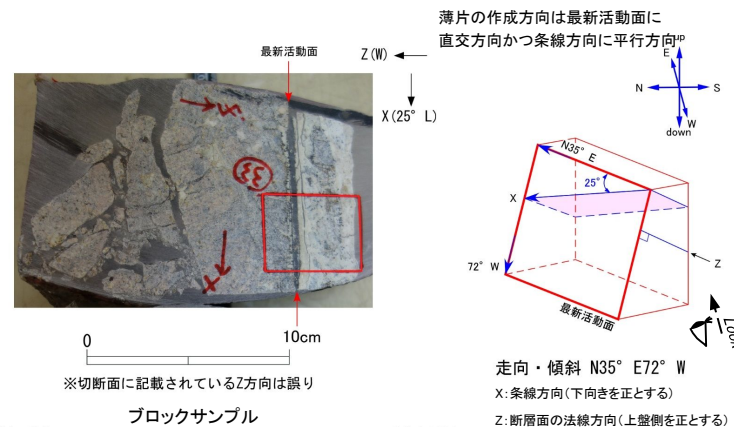
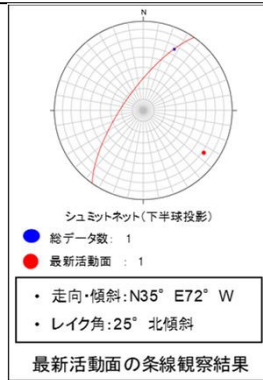


H27-B-2 深度88.88~88.94m f-b-2-14破砕帯 (1/2)

・H27-B-2のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度88.91m)の変位センスは、右ずれを伴う正断層である。
 ・追加した文献も踏まえて薄片観察を実施し、最新活動ゾーンに認められる以下の特徴を薄片観察における断層区分の考え方に照らして、断層ガウジを伴う破砕部であると判断した。

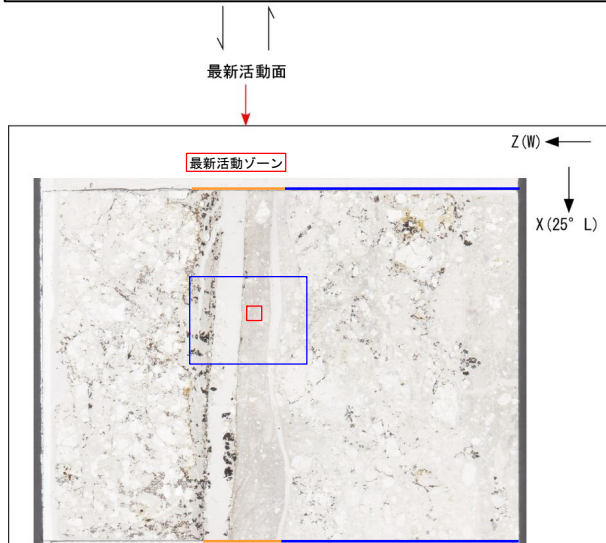
- せん断構造に伴う粘土鉱物の定向配列が認められる。
- 基質は粘土鉱物を主体とする。
- 粘土状部の分布は帯状で直線的である。
- 岩片は少ない。
- 丸みを帯びている岩片が多い。
- レンズ状に引き延ばされた岩片が認められる。



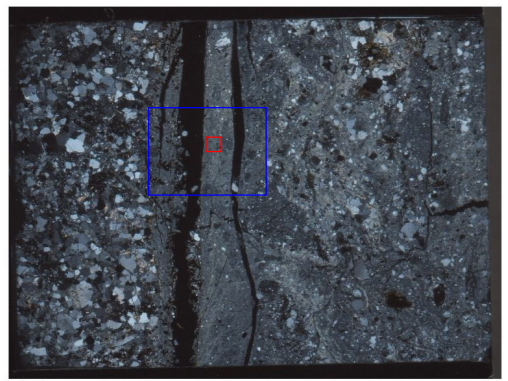
- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト
 - R1面
 - P面

H27-B-2 深度88.88~88.94m f-b-2-14破碎帯 (2/2)

- ・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。
- せん断構造に伴う粘土鉱物の定向配列が認められる。(図1)
- 基質は粘土鉱物を主体とする。(図1)
- 粘土状部の分布は帯状で直線的である。(図2)
- 岩片は少ない。(図1)
- 丸みを帯びている岩片が多い。(図1)
- レンズ状に引き延ばされた岩片が認められる。(図2)

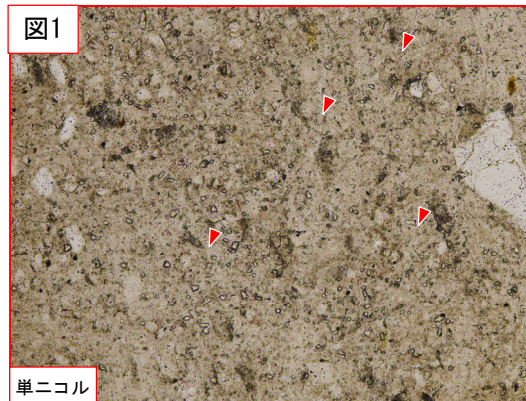


単ニコル



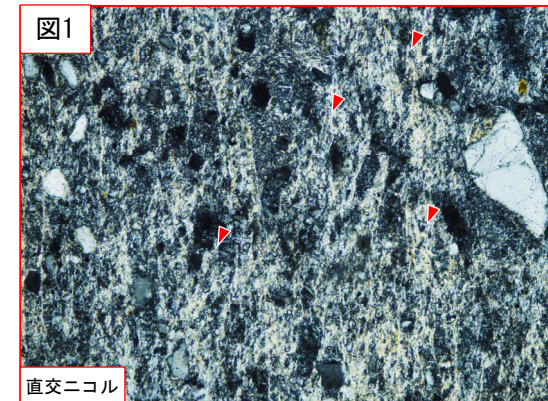
直交ニコル

- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト

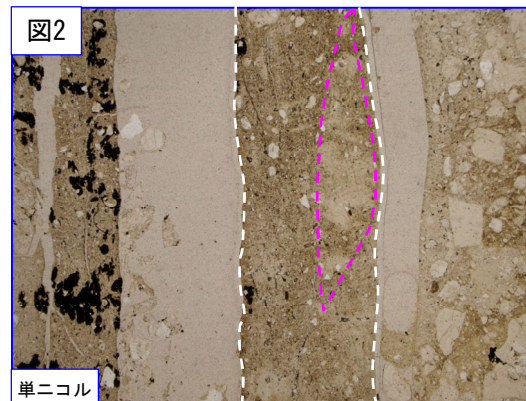


単ニコル

赤矢印の方向は粘土鉱物の配列方向を示す。

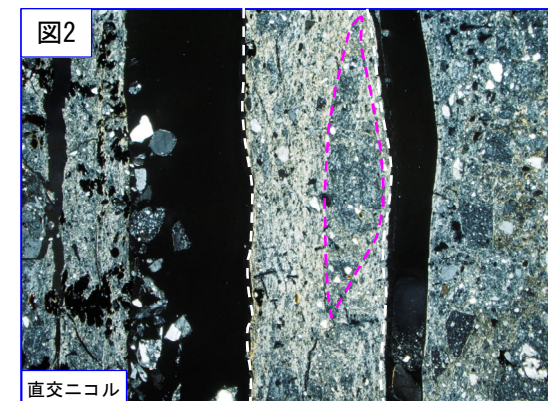


直交ニコル



単ニコル

ピンク破線はレンズ状に引き延ばされた岩片を示す。
白破線は帯状で直線的な範囲を示す。

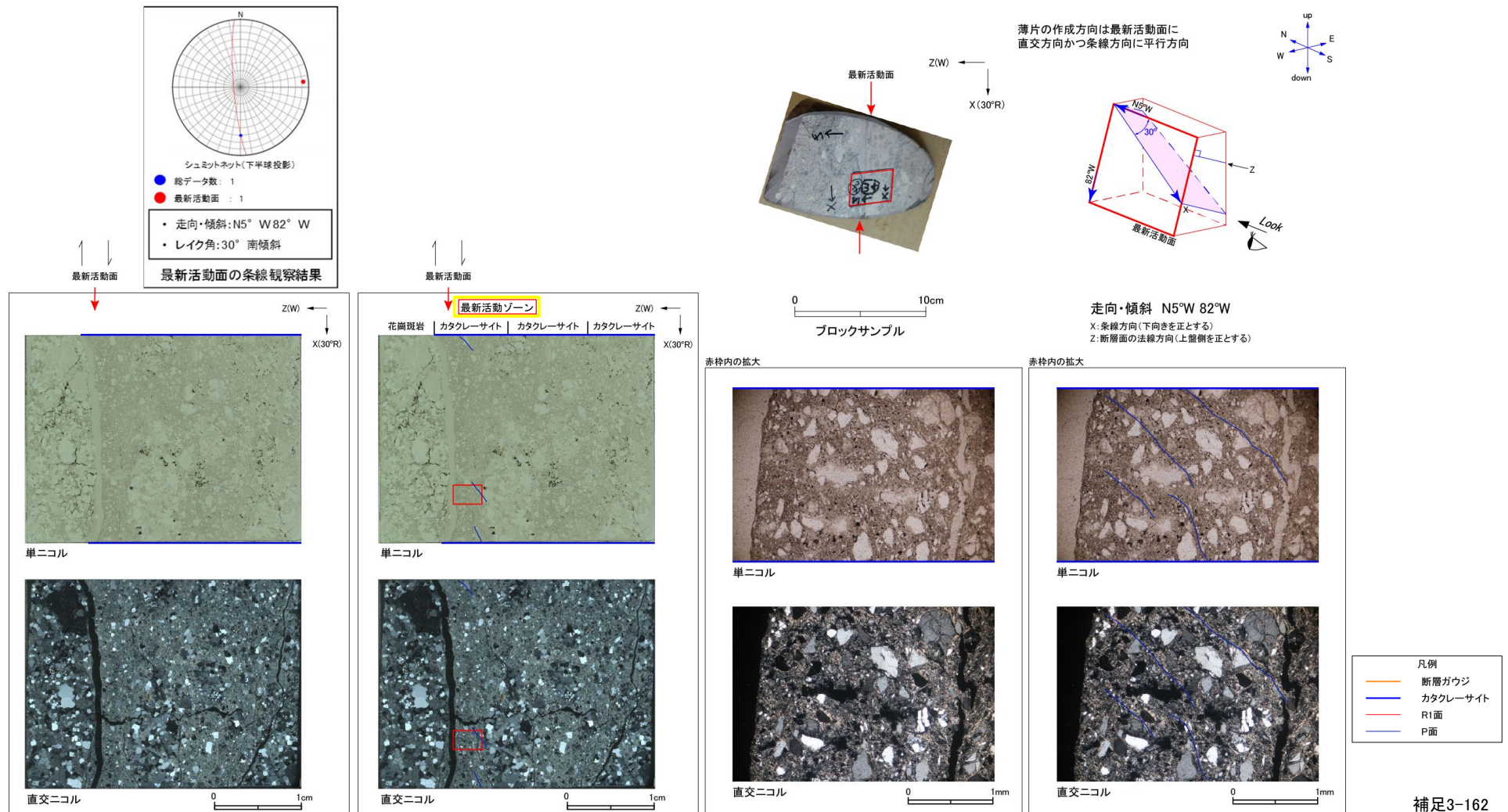


直交ニコル

H27-B-2 深度91.69~91.76m 非モデル化破砕部 (1/2)

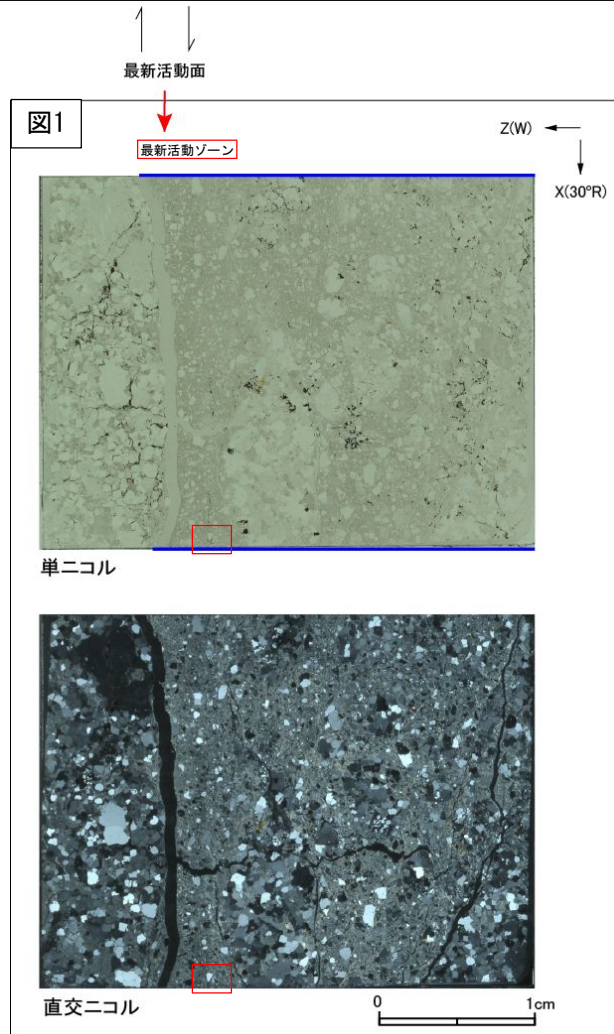
・H27-B-2のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度91.70m)の変位センスは、右ずれを伴う逆断層である。
 ・追加した文献も踏まえて薄片観察を実施し、最新活動ゾーンに認められる以下の特徴を薄片観察における断層岩区分の考え方に照らして、カタクレーサイトのみからなる破砕部であると判断した。

- 基質を構成する粘土鉱物は少ない。
- 組織は漸移的に変化する。
- 多様な粒径の岩片が多く認められる。
- 角ばった岩片が多い。
- シグソー状の角礫群が認められる。

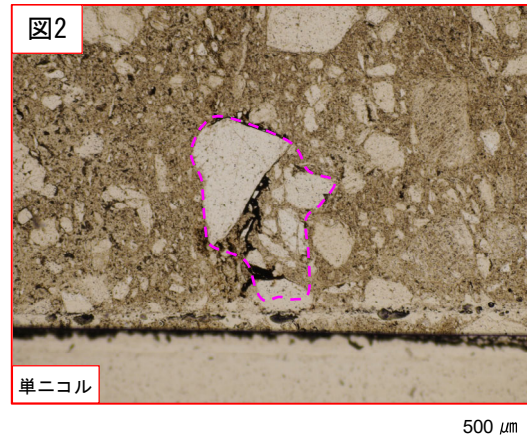


H27-B-2 深度91.69~91.76m 非モデル化破碎部 (2/2)

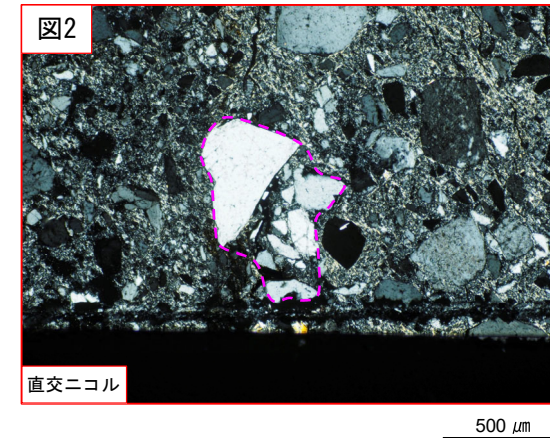
- ・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。
 - 基質を構成する粘土鉱物は少ない。(図2)
 - 組織は漸移的に変化する。(図1)
 - 多様な粒径の岩片が多く認められる。(図2)
 - 角ばった岩片が多い。(図2)
 - ジグソー状の角礫群が認められる。(図2)



- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト

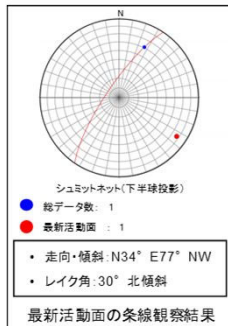


破線はジグソー状の角礫群の範囲を示す。



H27-B-2 深度120.63~120.65m 非モデル化破碎部 (1/3)

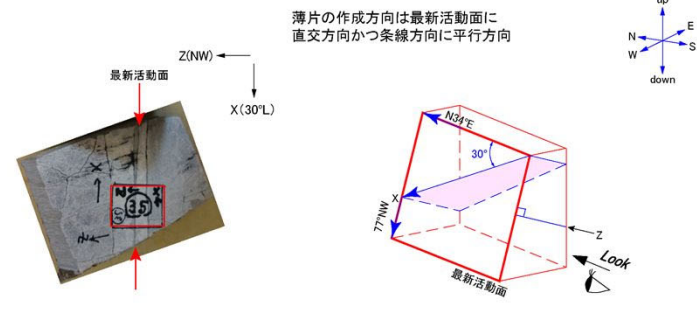
- ・H27-B-2のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度120.65m)の変位センスは、左ずれを伴う逆断層である。
- ・追加した文献も踏まえて薄片観察を実施し、最新活動ゾーンに認められる以下の特徴を薄片観察における断層岩区分の考え方に照らして、カタクレーサイトのみからなる破碎部であると判断した。
- 基質を構成する粘土鉱物は少ない。
- 粘土鉱物は漸移的に変化する。
- 多様な粒径の岩片が多く認められる。
- 角ばった岩片が多い。
- シグソー状の角礫群が認められる。
- 塑性変形した雲母粘土鉱物が認められる。



最新活動面

最新活動面

最新活動面の条線観察結果



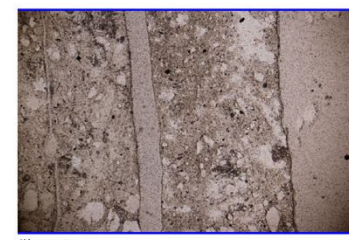
0 10cm

ブロックサンプル
※切断面に記載されているX方向は誤り

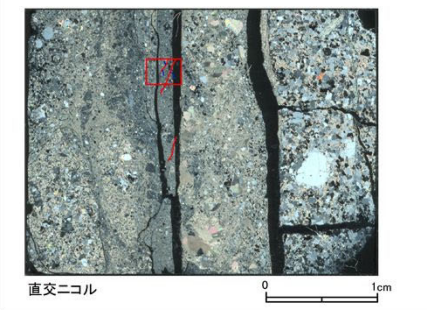
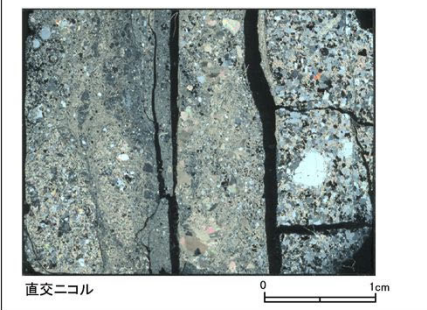
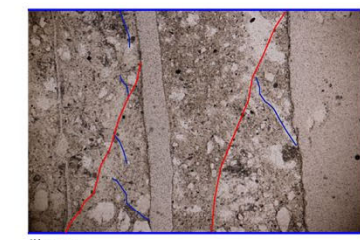
走向・傾斜 N34°E 77°NW
X: 条線方向(下向きを正とする)
Z: 断層面の法線方向(上盤側を正とする)



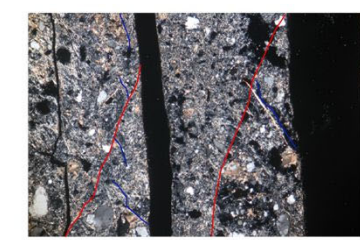
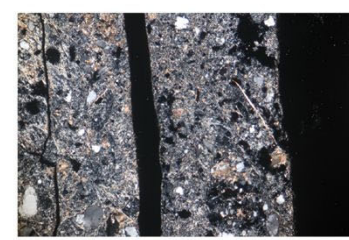
赤枠内の拡大



赤枠内の拡大



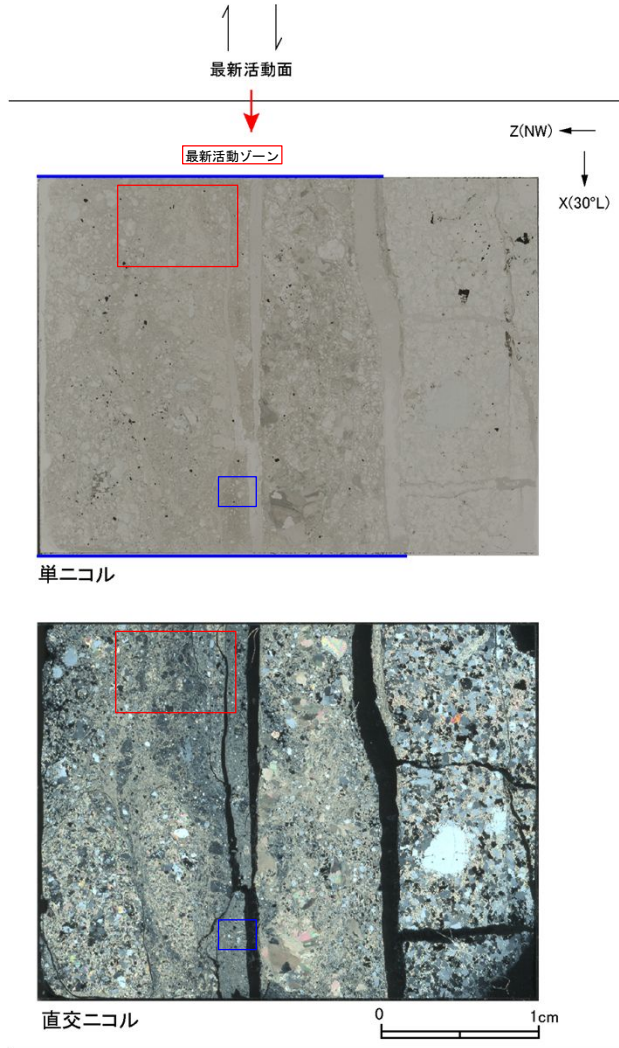
直交ニコル



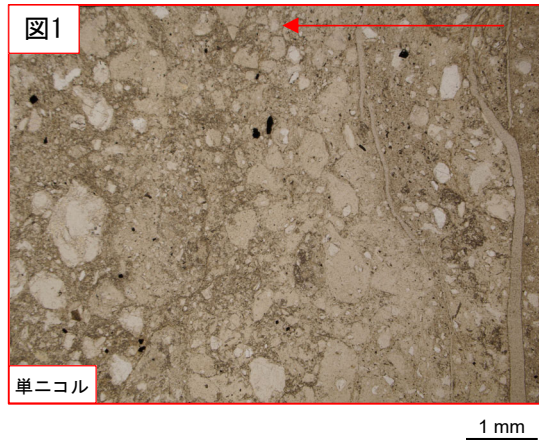
- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト
 - R1面
 - P面

H27-B-2 深度120.63~120.65m 非モデル化破碎部 (2/3)

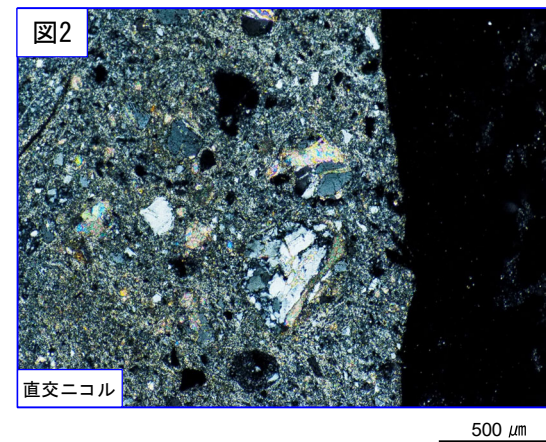
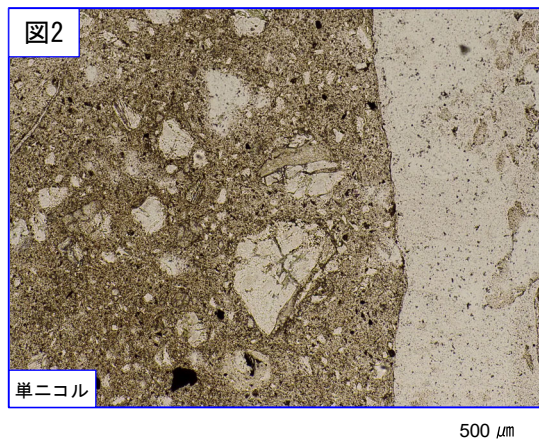
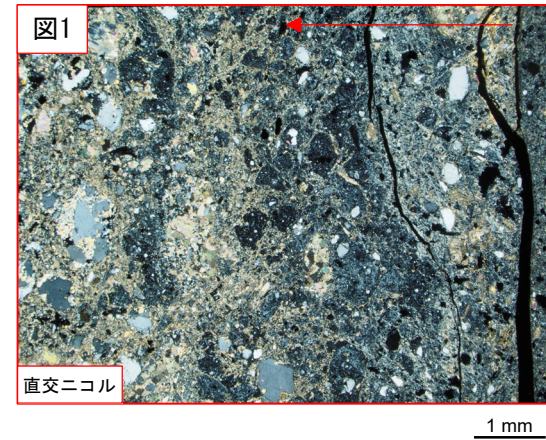
- ・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。
 - 基質を構成する粘土鉱物は少ない。(図2)
 - 粘土鉱物は漸移的に変化する。(図1)
 - 多様な粒径の岩片が多く認められる。(図2)
 - 角ばった岩片が多い。(図2)



- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト



赤矢印: 粘土鉱物が漸移的に減少する。

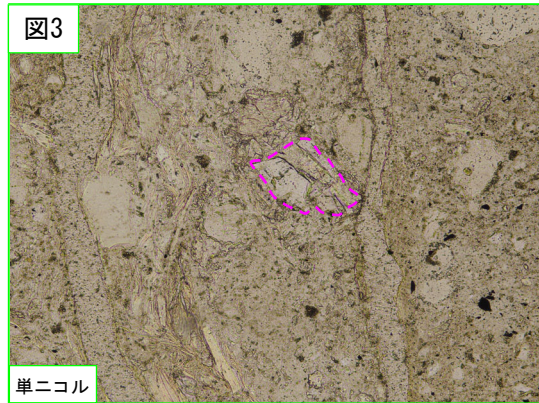


H27-B-2 深度120.63~120.65m 非モデル化破碎部 (3/3)

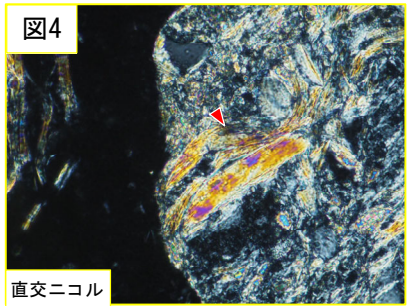
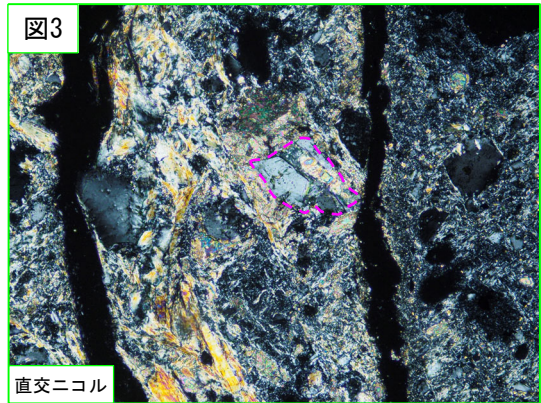
- ・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。
 - ジグソー状の角礫群が認められる。(図3)
 - 塑性変形した雲母粘土鉱物が認められる。(図4)



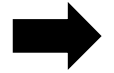
凡例
 断層ガウジ
 カタクレーサイト



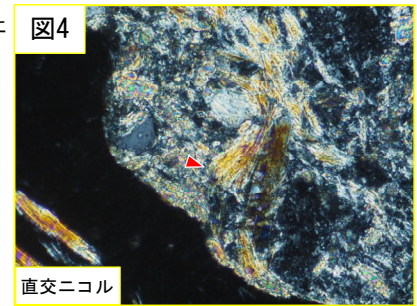
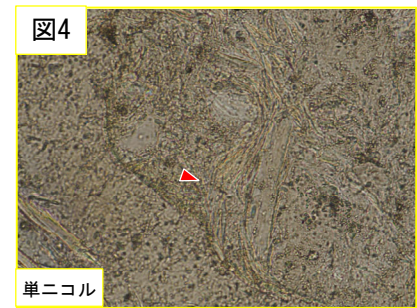
破線はジグソー状の角礫群の範囲を示す。 200 μm



赤矢印は屈曲箇所を示す。 50 μm



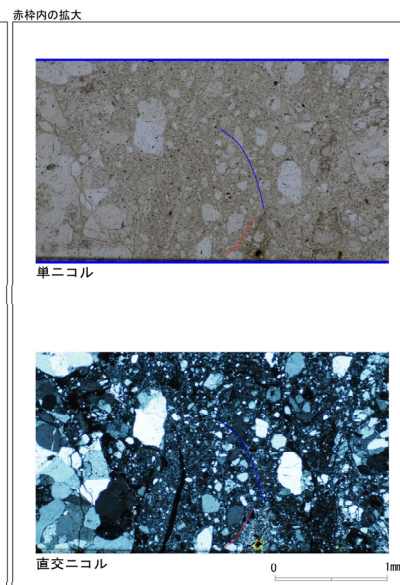
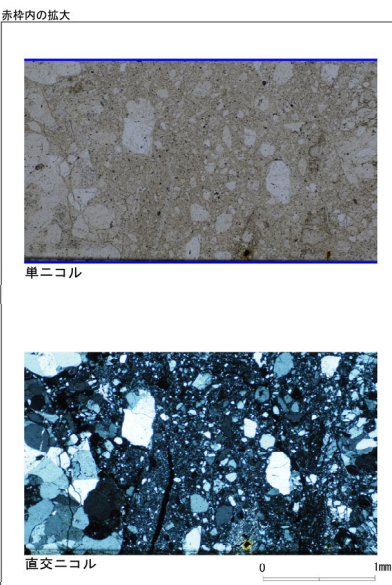
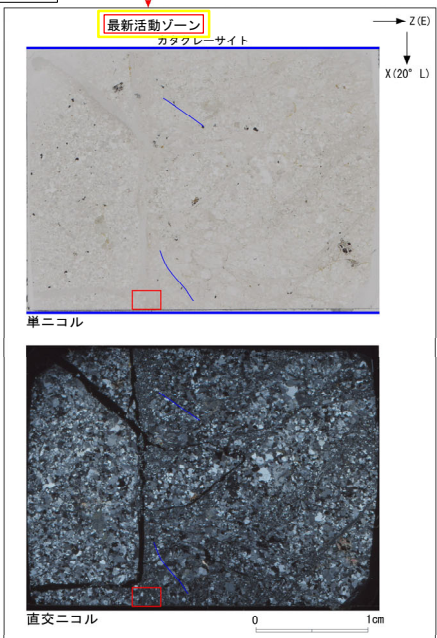
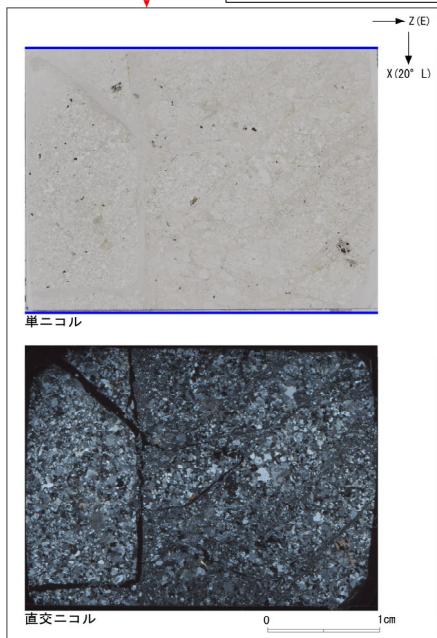
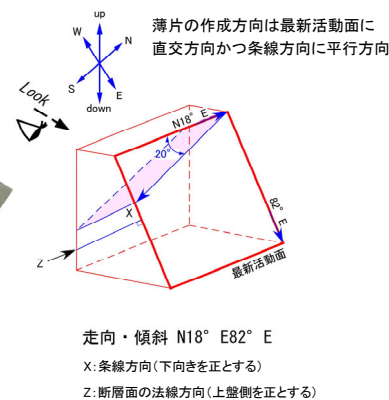
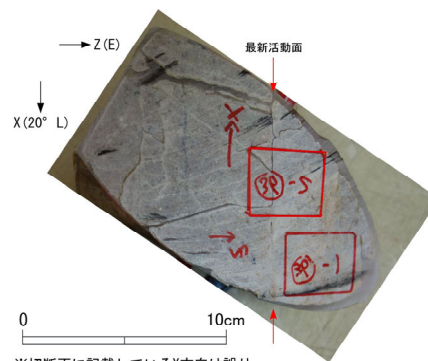
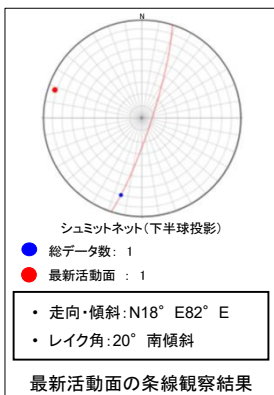
ステージを反時計回りに約45度回転



赤矢印は屈曲箇所を示す。 50 μm

H27-B-2 深度127.41~127.48m D-42破碎帯 (1/2)

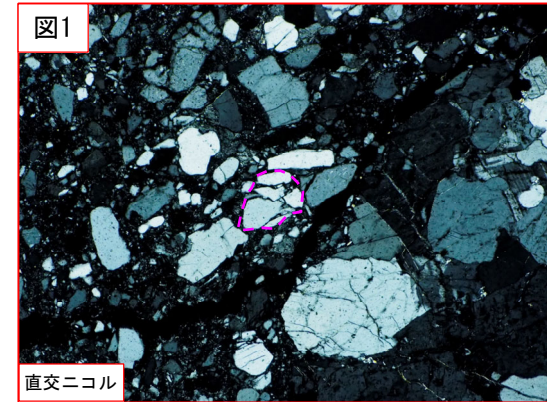
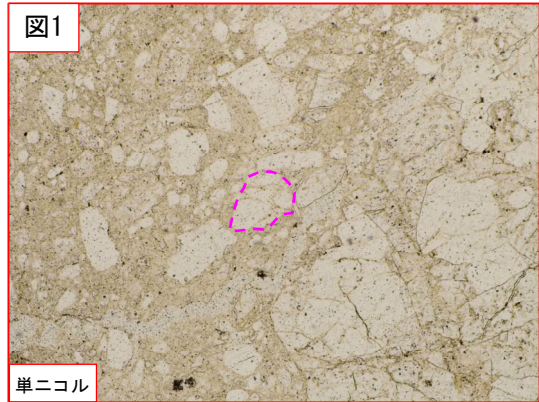
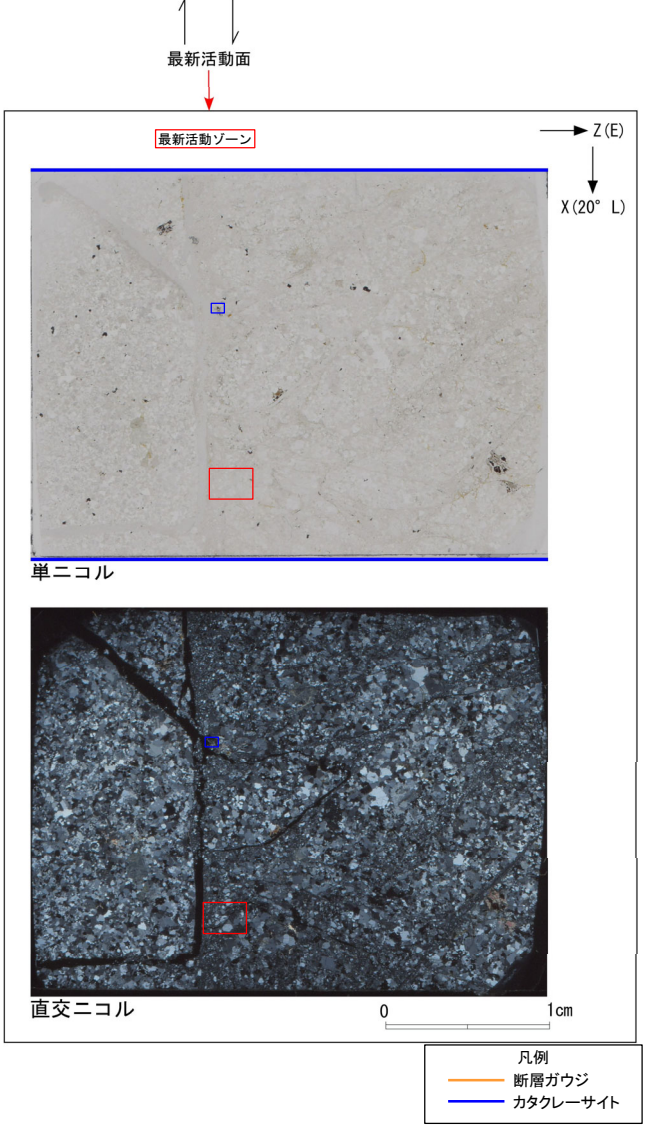
- ・H27-B-2のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度127.41m)の変位センスは、右ずれ成分が卓越する。
- ・追加した文献も踏まえて薄片観察を実施し、最新活動ゾーンに認められる以下の特徴を薄片観察における断層区区分の考え方に照らして、カタクレーサイトのみからなる破碎部であると判断した。
- 基質を構成する粘土鉱物は少ない。
- 多様な粒径の岩片が多く認められる。
- 角ばった岩片が多い。
- ジグソー状の角礫群が認められる。
- 塑性変形した雲母粘土鉱物が認められる。



- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト
 - R1面
 - P面

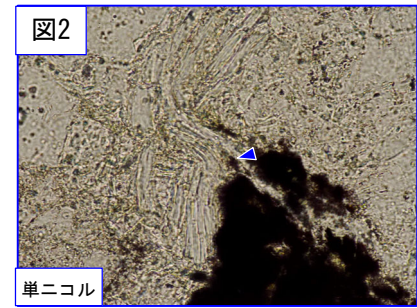
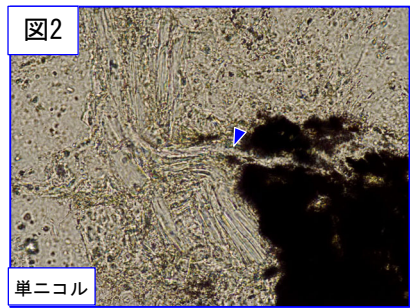
H27-B-2 深度127.41~127.48m D-42破碎帯 (2/2)

- ・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。
- 基質を構成する粘土鉱物は少ない。(図1)
- 多様な粒径の岩片が多く認められる。(図1)
- 角ばった岩片が多い。(図1)
- ジグソー状の角礫群が認められる。(図1)
- 塑性変形した雲母粘土鉱物が認められる。(図2)

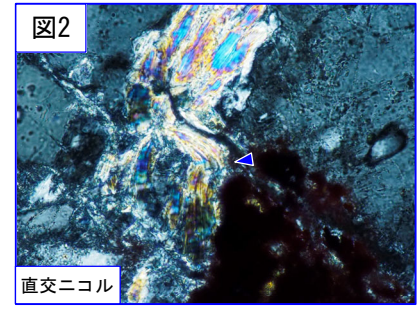
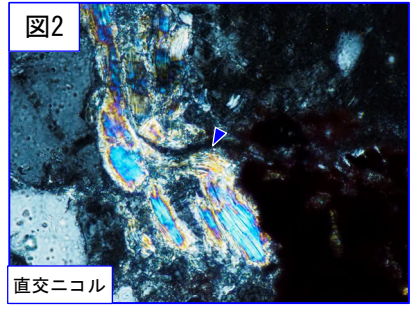


破線はジグソー状の角礫群の範囲を示す。 500 μm

500 μm



→
ステージを時計回りに
約45度回転



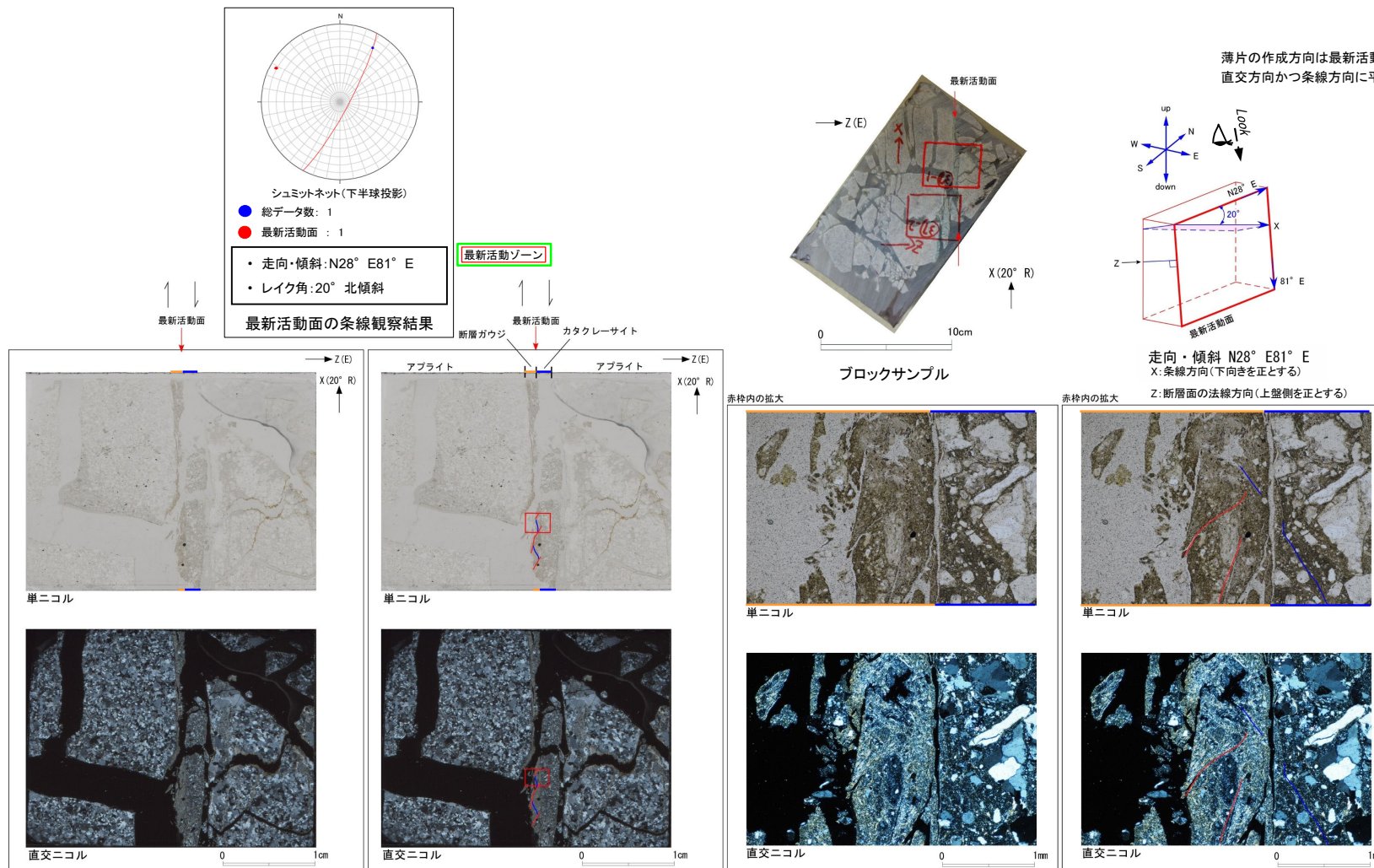
青矢印は屈曲箇所を示す。 50 μm

青矢印は屈曲箇所を示す。 50 μm

H27-B-2 深度128.82~128.97m D-44破碎帯 (1/3)

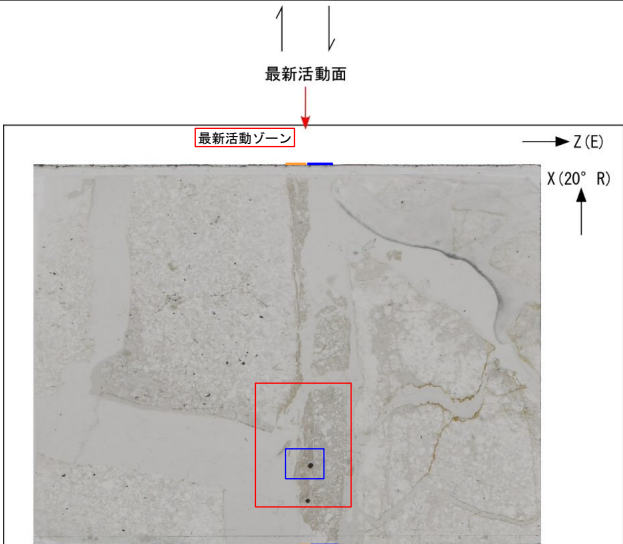
・H27-B-2のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度128.87m)の変位センスは、右ずれ成分が卓越する。
 ・追加した文献も踏まえて薄片観察を実施し、最新活動ゾーンに認められる以下の特徴を薄片観察における断層区分の考え方に照らして、断層ガウジを伴う破碎部であると判断した。

- 基質は粘土鉱物を主体とする。
- 粘土状部の分布は帯状で直線的である。
- 岩片は少ない。
- 丸みを帯びている岩片が多い。
- 岩片の粒界を横断する破断面が認められる。

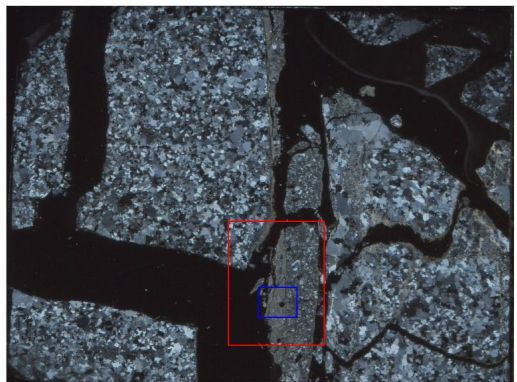


H27-B-2 深度128.82~128.97m D-44破碎帯 (2/3)

- ・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。
- 基質は粘土鉱物を主体とする。(図2)
- 粘土状部の分布は帯状で直線的である。(図1)
- 岩片は少ない。(図2)
- 丸みを帯びている岩片が多い。(図2)

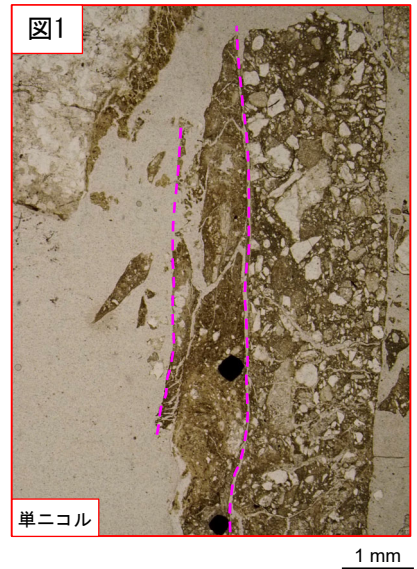


単ニコル

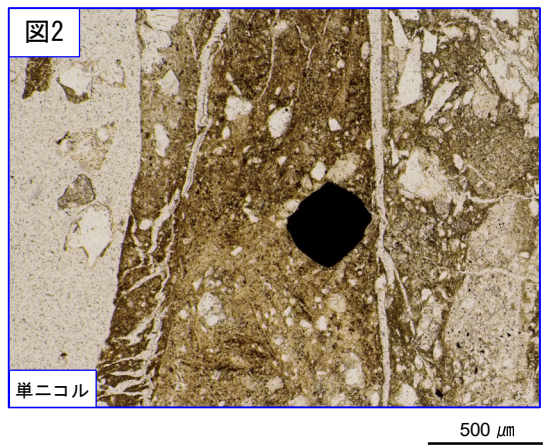
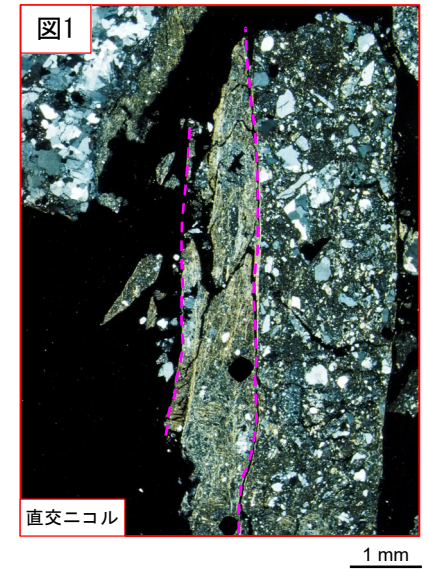


直交ニコル

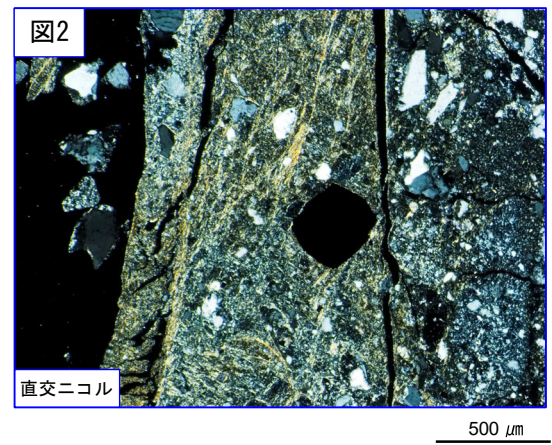
- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト



破線は帯状で直線的な範囲を示す。



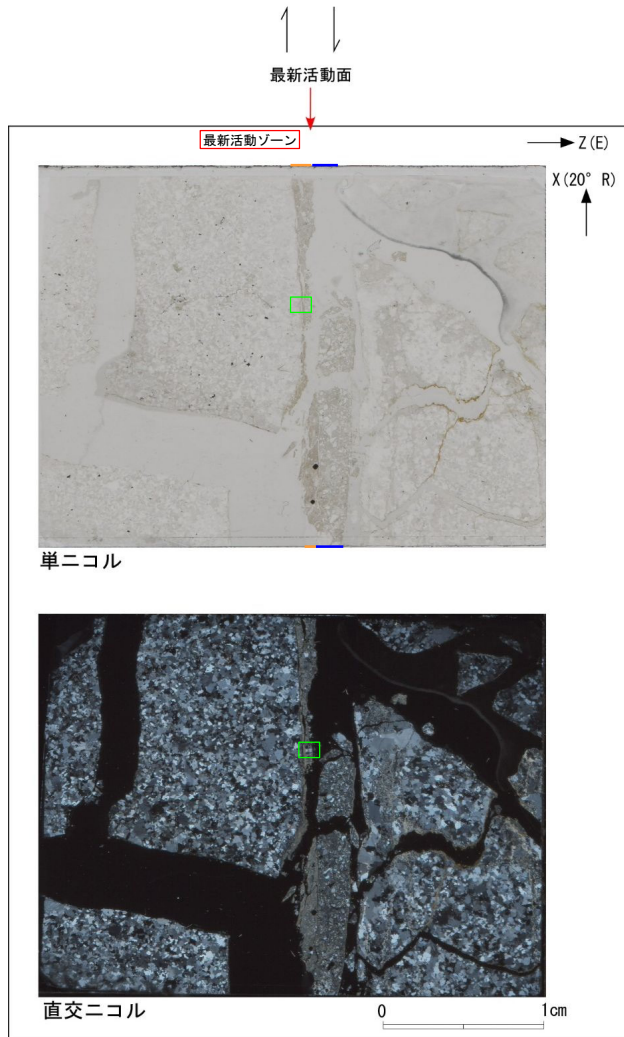
単ニコル



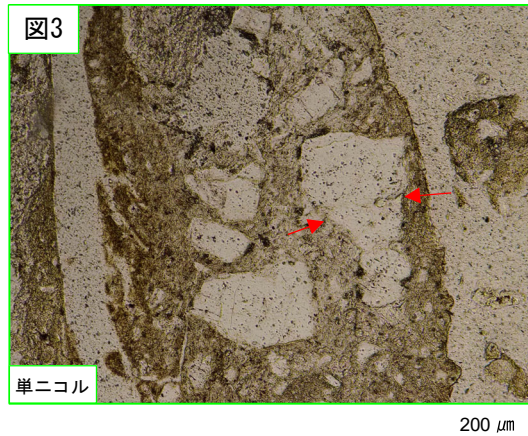
直交ニコル

H27-B-2 深度128.82~128.97m D-44破碎帯 (3/3)

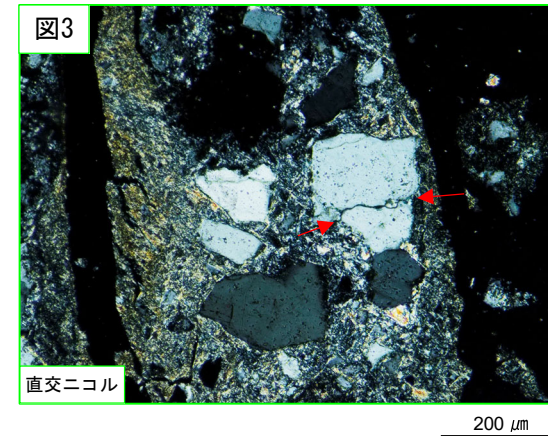
- ・最新活動ゾーンには, 以下の特徴が認められる。
- 岩片の粒界を横断する破断面が認められる。(図3)



- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト

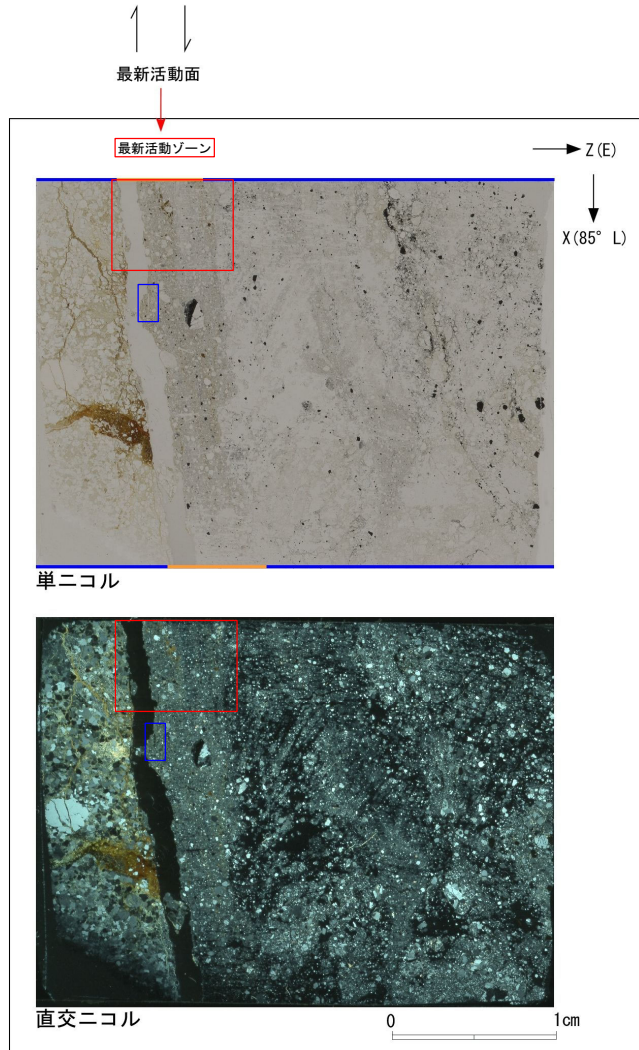


赤矢印は岩片の粒界を横断する破断面を示す。

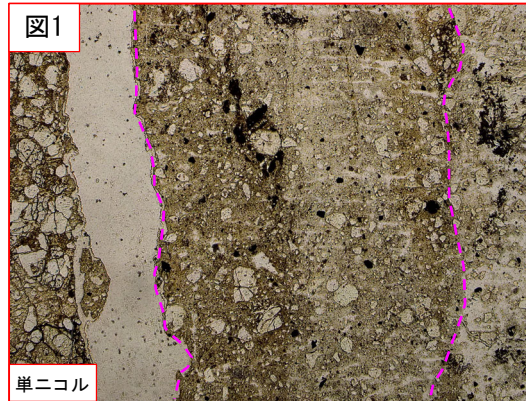


H27-B-2 深度134.15~134.23m f-b-2-20破碎帯 (2/3)

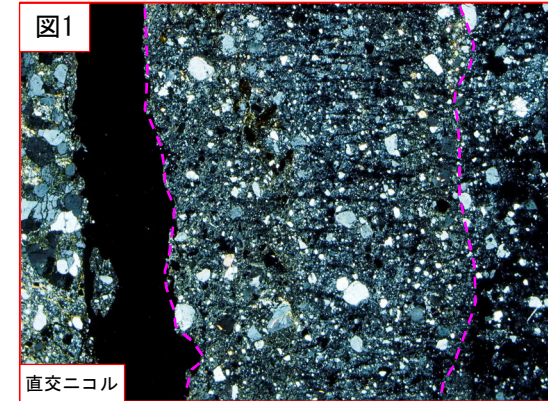
- ・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。
- 基質は粘土鉱物を主体とする。(図2)
- 粘土状部の分布は帯状で直線的である。(図1)
- 岩片は少ない。(図2)
- 丸みを帯びている岩片が多い。(図2)



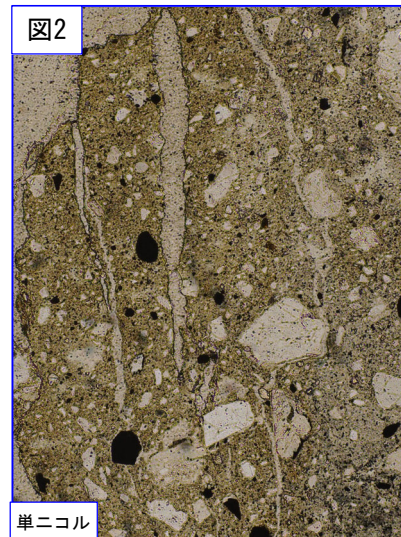
凡例
 — 断層ガウジ
 — カタクレーサイト



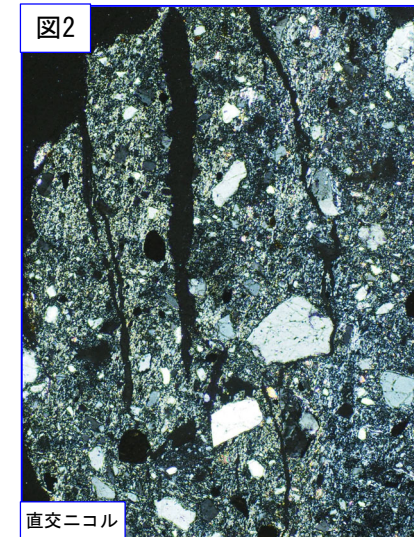
破線は帯状で直線的な範囲を示す。 1 mm



1 mm



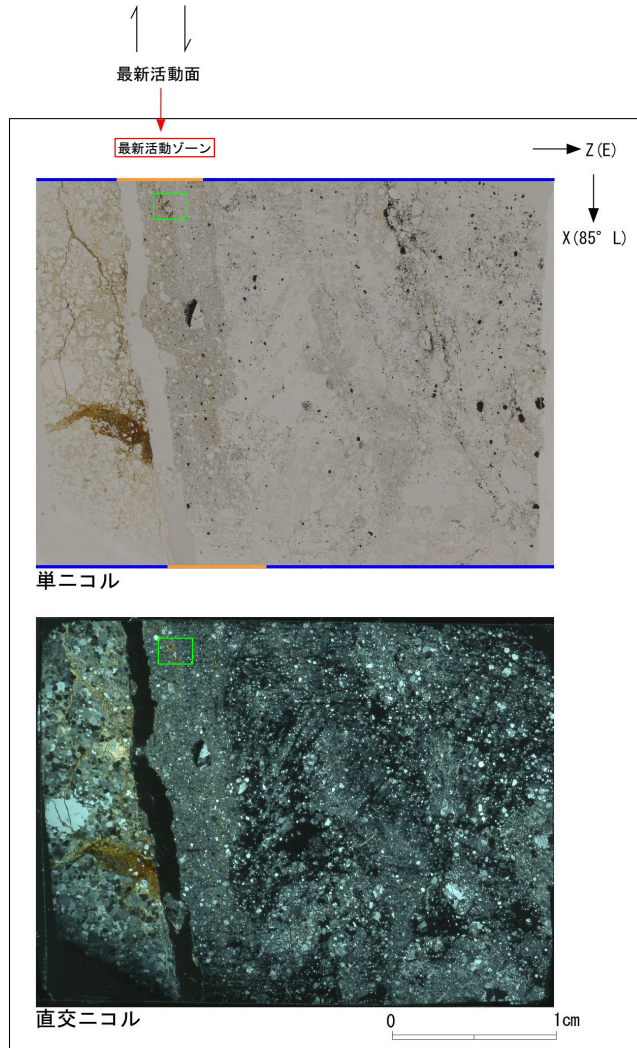
300 μm



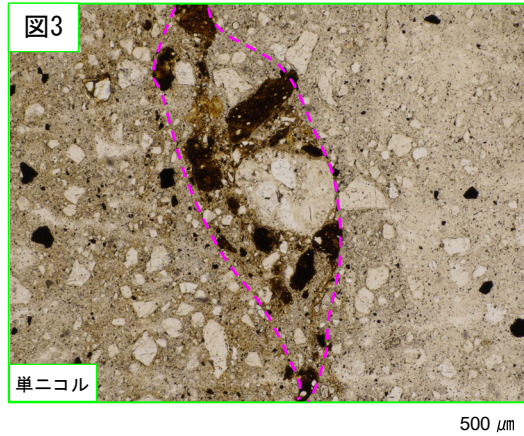
300 μm

H27-B-2 深度134.15~134.23m f-b-2-20破碎帯 (3/3)

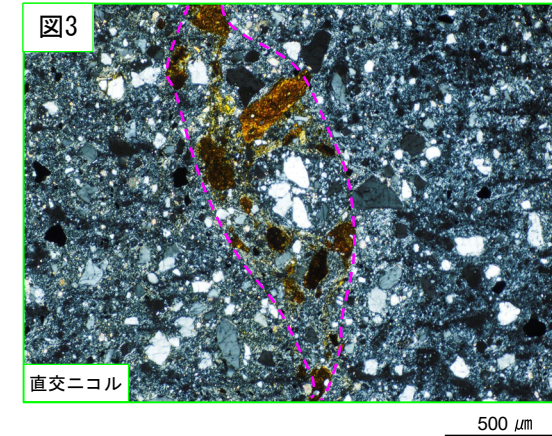
- ・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。
- レンズ状に引き延ばされた岩片が認められる。(図3)



- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト



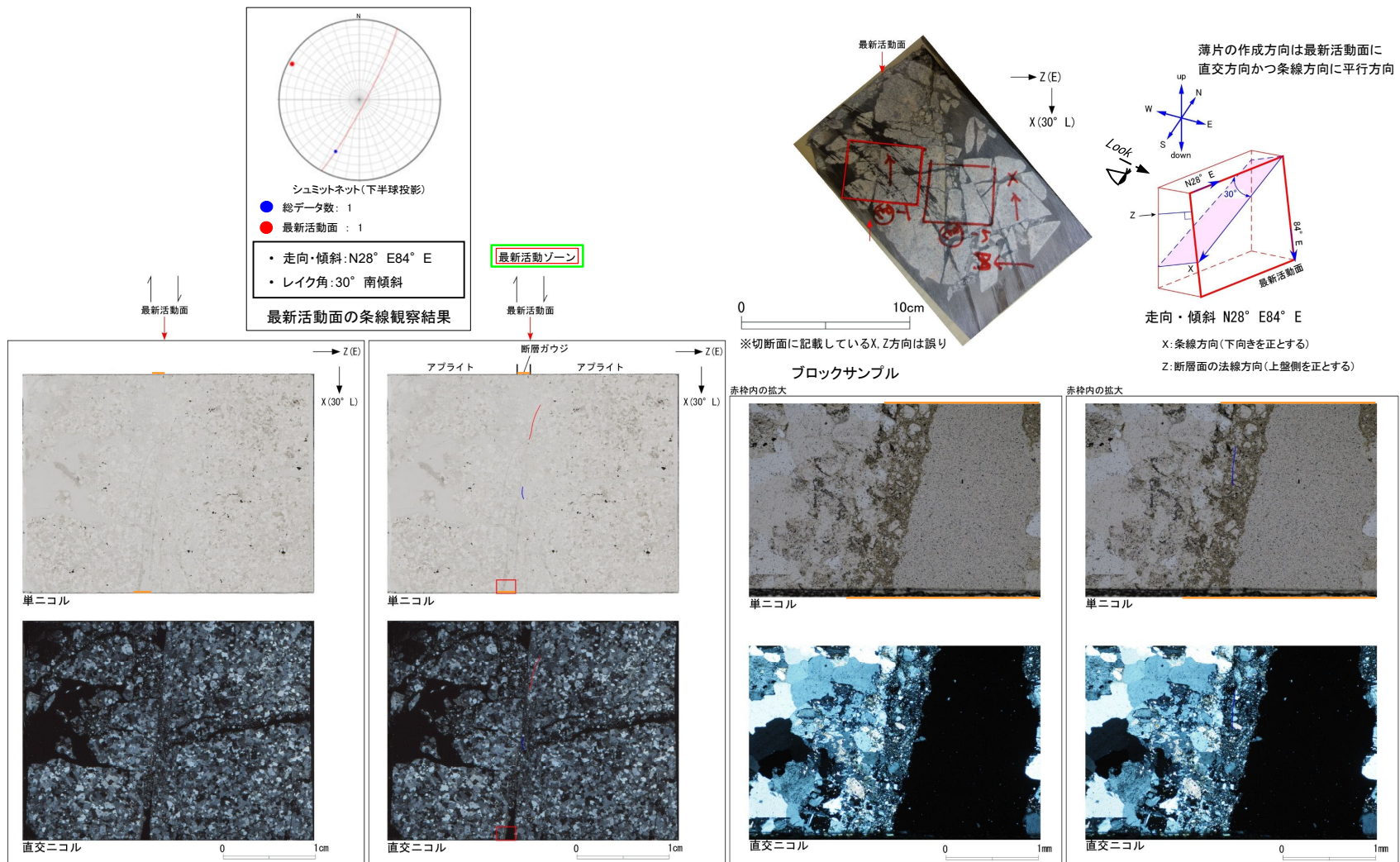
破線はレンズ状に引き延ばされた岩片を示す。



H27-B-2 深度152.10~152.15m f-b-2-21破砕帯 (1/2)

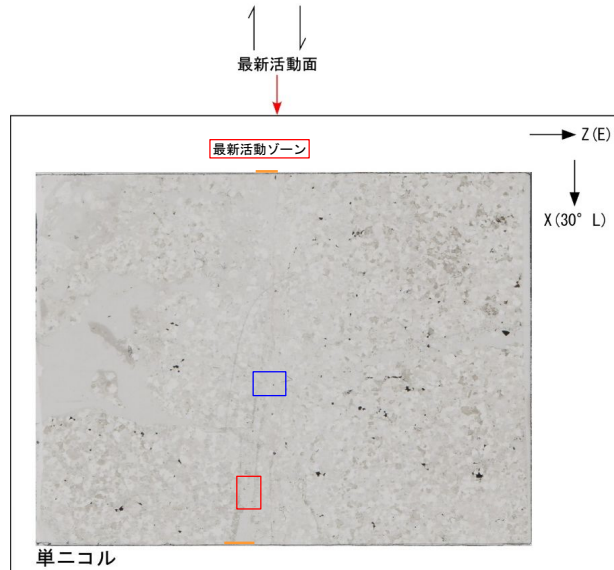
・H27-B-2のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度152.11m)の変位センスは、右ずれを伴う正断層である。
 ・追加した文献も踏まえて薄片観察を実施したところ、粘土鉱物の多くが流出しており、その分布形態を判断できない。このため、以下の特徴が認められるが、**保守的に断層ガウジを伴う破砕部であると判断した。**

- 基質を構成する粘土鉱物は少ない。
- 多様な粒径の岩片が多く認められる。
- 角ばった岩片が多い。
- シグソー状の角礫群が認められる。

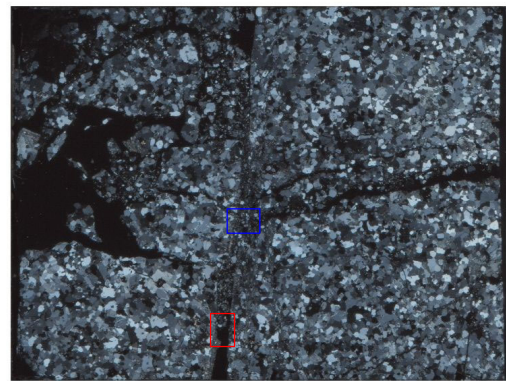


H27-B-2 深度152.10~152.15m f-b-2-21破碎帯 (2/2)

- ・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。
- 粘土状部の多くが流出しており、その分布形態を判断できない。(図1)
- 基質を構成する粘土鉱物は少ない。(図1)
- 多様な粒径の岩片が多く認められる。(図2)
- 角ばった岩片が多い。(図2)
- ジグソー状の角礫群が認められる。(図2)

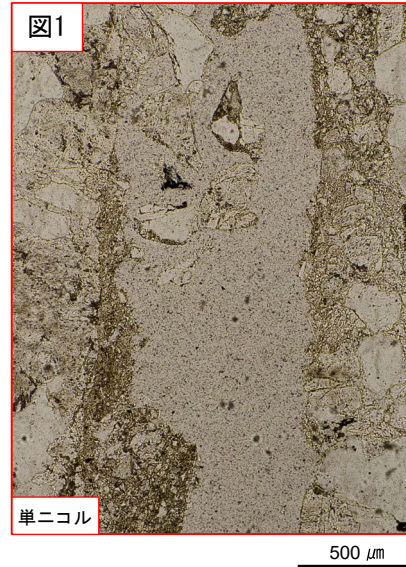


単ニコル

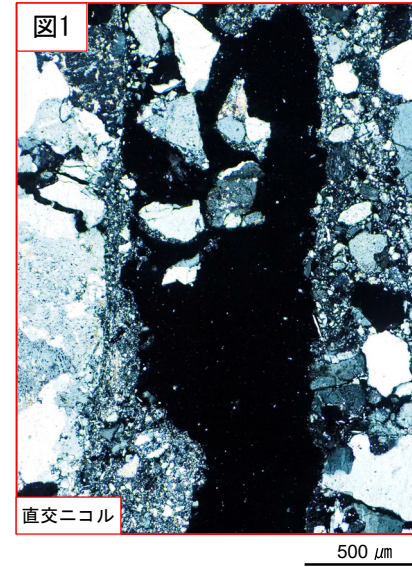


直交ニコル

- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト

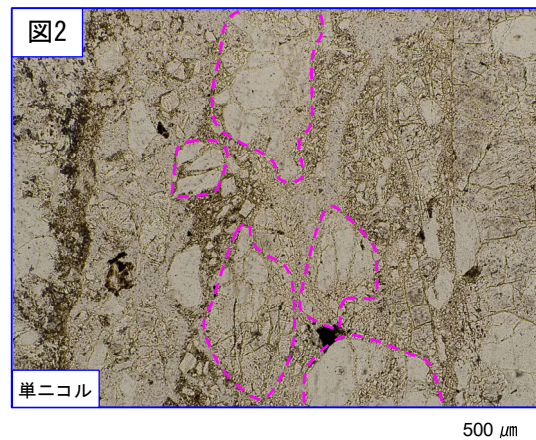


単ニコル

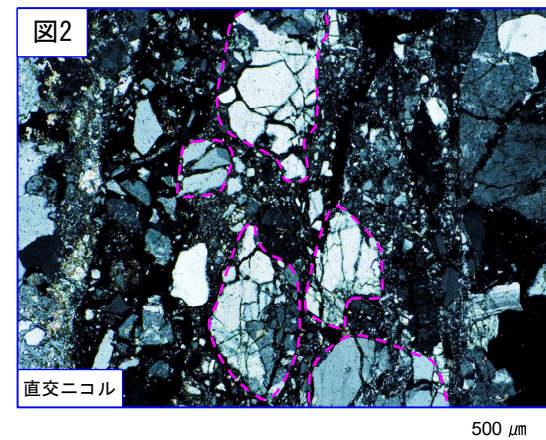


直交ニコル

※薄片作成時に細粒部が脱落し、粘土鉱物が少なく見える箇所がある。



単ニコル



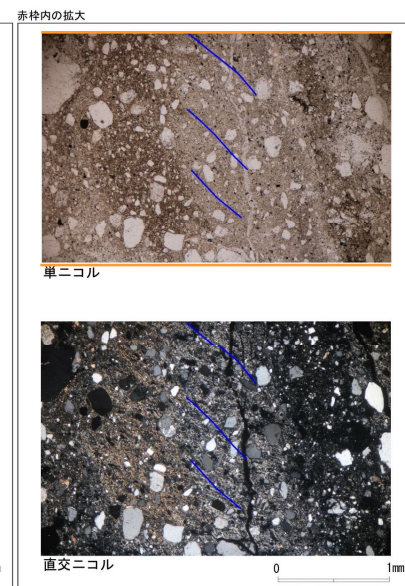
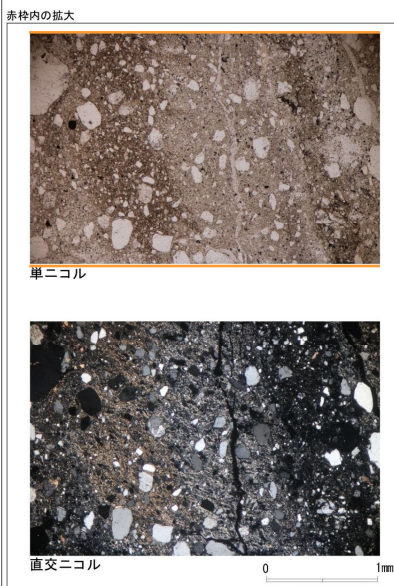
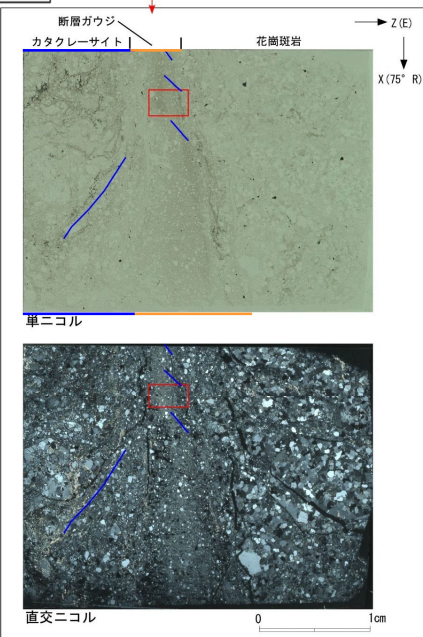
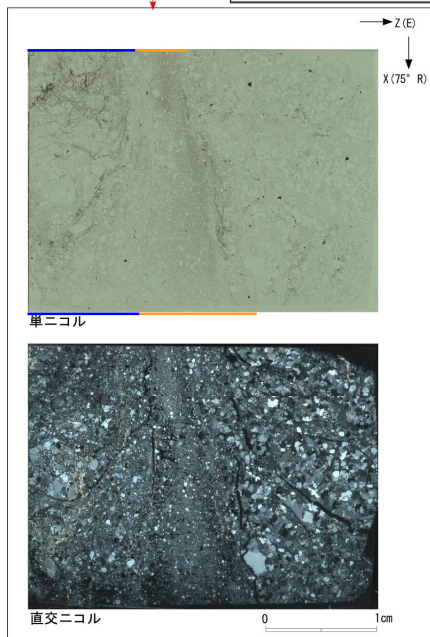
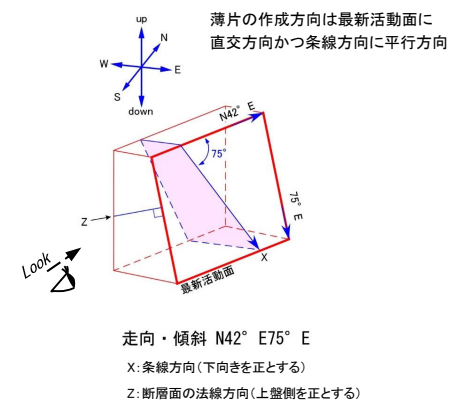
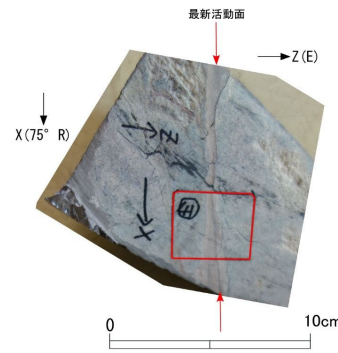
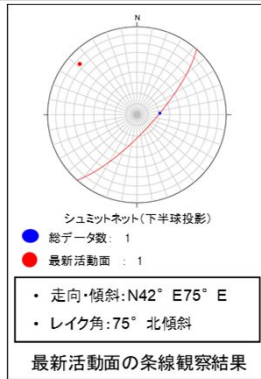
直交ニコル

破線はジグソー状の角礫群の範囲を示す。

H27-B-2 深度154.53~154.71m f-b-2-22破碎帯 (1/2)

・H27-B-2のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度154.58m)の変位センスは、正断層成分が卓越する。
 ・追加した文献も踏まえて薄片観察を実施し、最新活動ゾーンに認められる以下の特徴を薄片観察における断層区別の考え方に照らして、断層ガウジを伴う破碎部であると判断した。

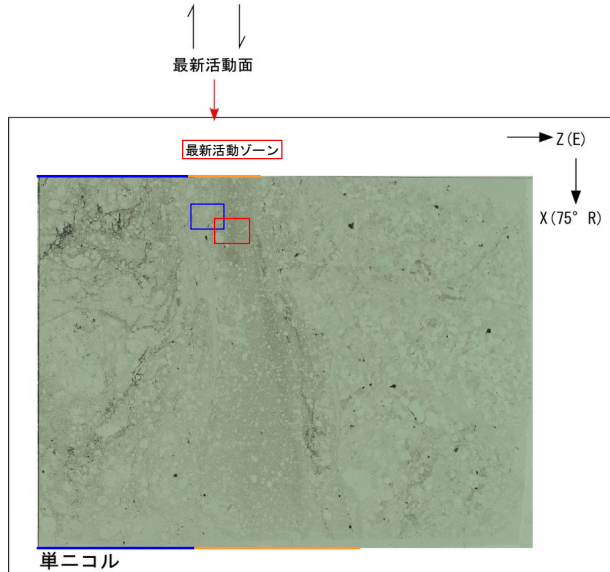
- せん断構造に伴う粘土鉱物の定向配列が認められる。
- 基質は粘土鉱物を主体とする。
- 岩片は少ない。
- 粘土鉱物は漸移的に変化する。
- 角ばった岩片が多い。
- シグソー状の角礫群が認められる。



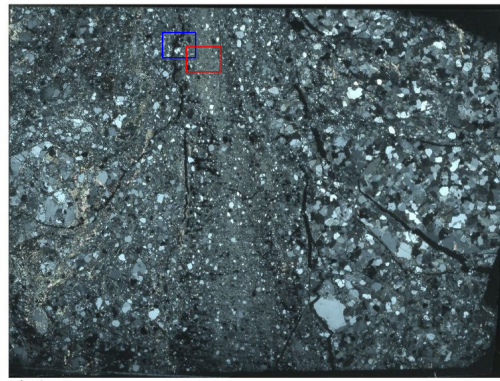
- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト
 - R1面
 - P面

H27-B-2 深度154.53~154.71m f-b-2-22破碎帯 (2/2)

- ・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。
- せん断構造に伴う粘土鉱物の定向配列が認められる。(図1)
- 基質は粘土鉱物を主体とする。(図1)
- 岩片は少ない。(図1)
- 粘土鉱物は漸移的に変化する。(図1)
- 角ばった岩片が多い。(図2)
- ジグソー状の角礫群が認められる。(図2)

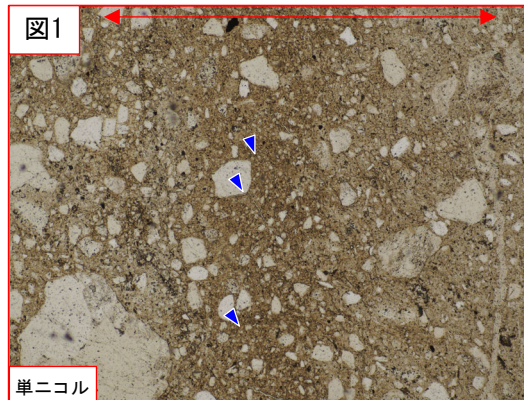


単ニコル



直交ニコル

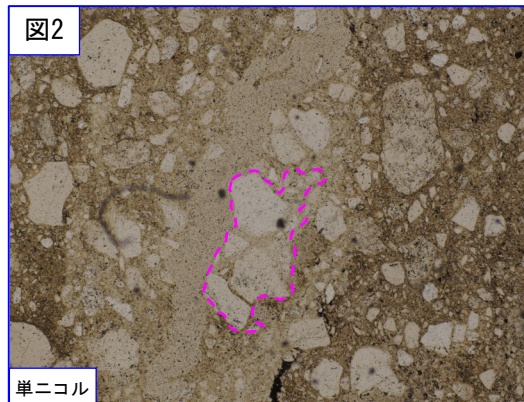
凡例
 断層ガウジ
 カタクレーサイト



単ニコル

500 μm

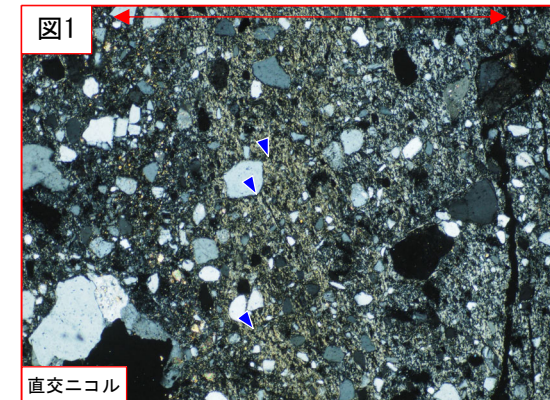
赤矢印: 粘土鉱物が漸移的に減少する。
 青矢印の方向は粘土鉱物の配列方向を示す。



単ニコル

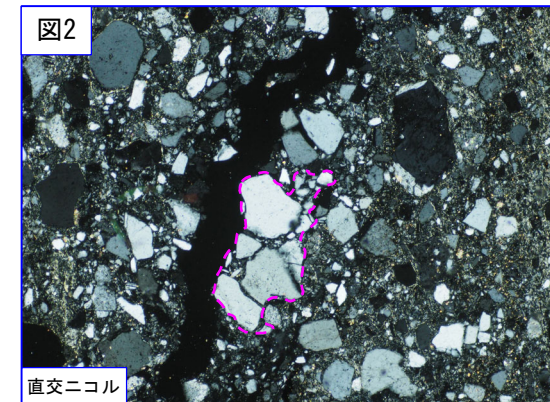
500 μm

破線はジグソー状の角礫群の範囲を示す。



直交ニコル

500 μm



直交ニコル

500 μm

H24-B14-2

余白